様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 7日

東京都知事　　殿

提出者
住　所　東京都大田区蒲田5丁目37番1号
氏　名　日本総合住生活（株）　東京支社
執行役員支社長　神田　俊一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6803-3830

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本総合住生活株式会社　東京東支店
事業場の所在地	東京都江東区新砂1-6-35
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	元請完成工事高 7320百万円
③従業員数	253人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック　→　破砕・圧縮　→　再生利用 金属くず　→　破砕・圧縮　→　再生利用 木くず　→　分別　→　破砕　→　再生利用 繊維くず　→　焼却または破砕　→　再生利用 建設汚泥　→　乾燥　→　再生利用 混合廃棄物　→　分別　→　破砕　→　再生利用 ガレキ類　→　破砕　→　再生利用 ガラス陶器くず　→　破砕　→　再生利用 再生利用不可は埋め立て

（日本産業規格　Ａ列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
・　産業廃棄物管理組織図　　別紙組織図のとおり
・　産業廃棄物処理責任者　　東京支社長</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td>下水汚泥</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>22.56　t</td><td>3.15　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
支社に安全品質・産廃処理適正化推進委員会・部会を組織し、適正処理の推進に取り組んでいる。（組織図別添）
また、ISO14001を取得し、産廃処理状況に関する内部監査を実施している。
住戸内改修工事において、再生利用可能なもの（畳等）の撤去については発注者に再利用の提案を行い、排出抑制に努めている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td>下水汚泥</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>22.56　t</td><td>3.15　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
再生利用に関しては再資源・再生利用品目を分別し、リサイクル業者への搬出により環境負荷の軽減、循環型社会の構築に取り組んでいるところである。
特に繊維くず（畳）の堆肥化、廃プラ（壁紙・FRP浴槽等）の固形燃料化（RPF）に重点的に取組み、リサイクル率の向上に努めたい。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、木くず、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、
金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
について分別を行っている。
分別促進に関する教育研修を従業員及び協力会社を対象に実施
している。
混合廃棄物の排出量を定期的に確認し監視を行っている。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状の取組を維持し廃棄物の分別に取り組む。
分別促進に関する教育研修を従業員及び協力会社を対象に実施する。
混合廃棄物の排出量を定期的に確認し監視を行う。</td></tr>
</table>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
排　出　量	0.36　t	0.45　t	96.25　t	148.05　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
排　出　量	0.36　t	0.45　t	96.25　t	148.05　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
排　出　量	13.60　t	34.79　t	16.06　t	42.50　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
排　出　量	13.60　t	34.79　t	16.06　t	42.50　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排　出　量	45.14　t	431.20　t	99.90　t	377.36　t	0.20　t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排　出　量	45.14　t	431.20　t	99.90　t	377.36　t	0.20　t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td>下水汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td>下水汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td>下水汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>上水汚泥</td><td>下水汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	上水汚泥	下水汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	上水汚泥	下水汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	上水汚泥	下水汚泥
全処理委託量	22.56 t	3.15 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	22.56 t	3.15 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	0.36 t	0.45 t	96.25 t	148.05 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.36 t	0.45 t	96.25 t	148.05 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	13.60 t	34.79 t	16.06 t	42.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	13.60 t	34.79 t	16.06 t	42.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	45.14 t	431.20 t	99.90 t	377.36 t	0.20 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	45.14 t	431.20 t	99.90 t	377.36 t	0.20 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	上水汚泥	下水汚泥
		全処理委託量	22.56　t	3.15　t
		優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t
		再生利用業者への処理委託量	22.56　t	3.15　t
		認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t	－　t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	0.36 t	0.45 t	96.25 t	148.05 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.36 t	0.45 t	96.25 t	148.05 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	13.60 t	34.79 t	16.06 t	42.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	13.60 t	34.79 t	16.06 t	42.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	45.14 t	431.20 t	99.90 t	377.36 t	0.20 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	45.14 t	431.20 t	99.90 t	377.36 t	0.20 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

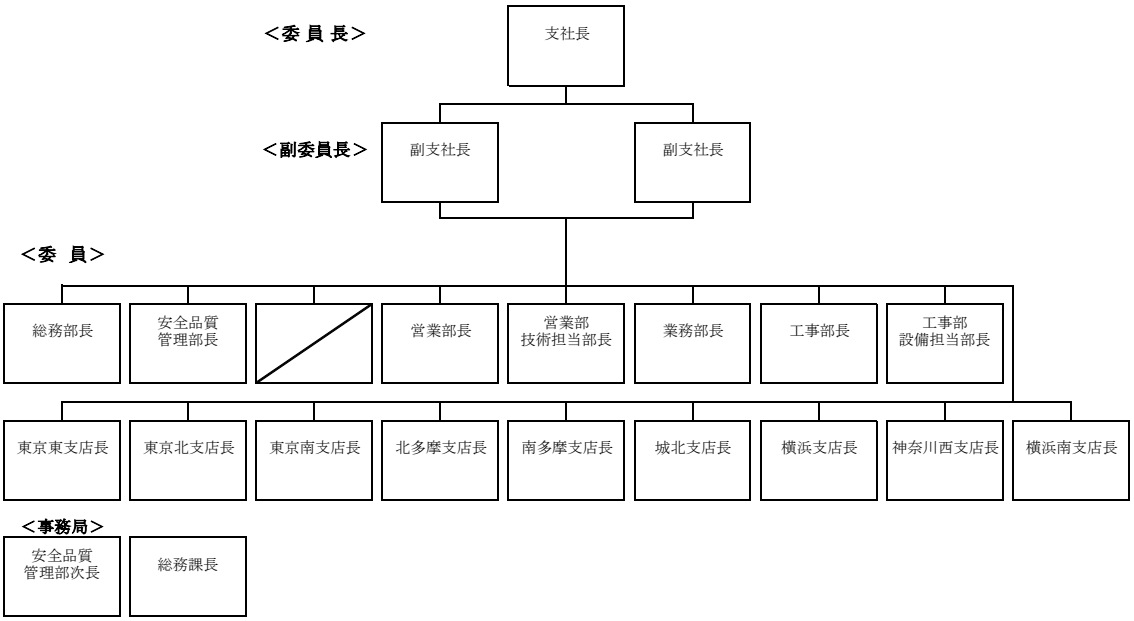
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

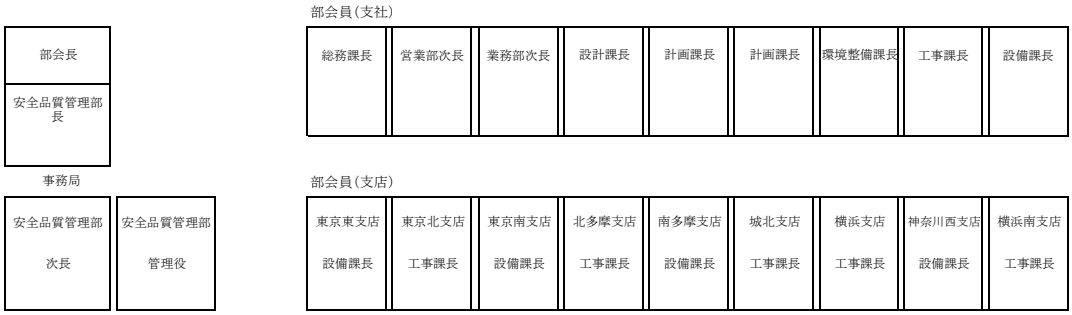
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

東京支社　安全品質・産廃処理適正化推進委員会



東京支社 「安全品質推進部会・産廃処理適正化推進部会」

＜部　会＞